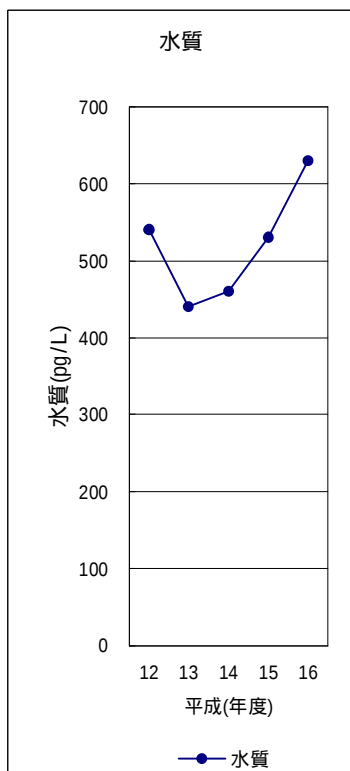




水質定量[検出]下限値 (pg/g-dry)

平成12年 [0.03 ~ 2]

平成13年 [0.03 ~ 30]

平成14年 0.18 ~ 0.90 [0.06 ~ 0.30]

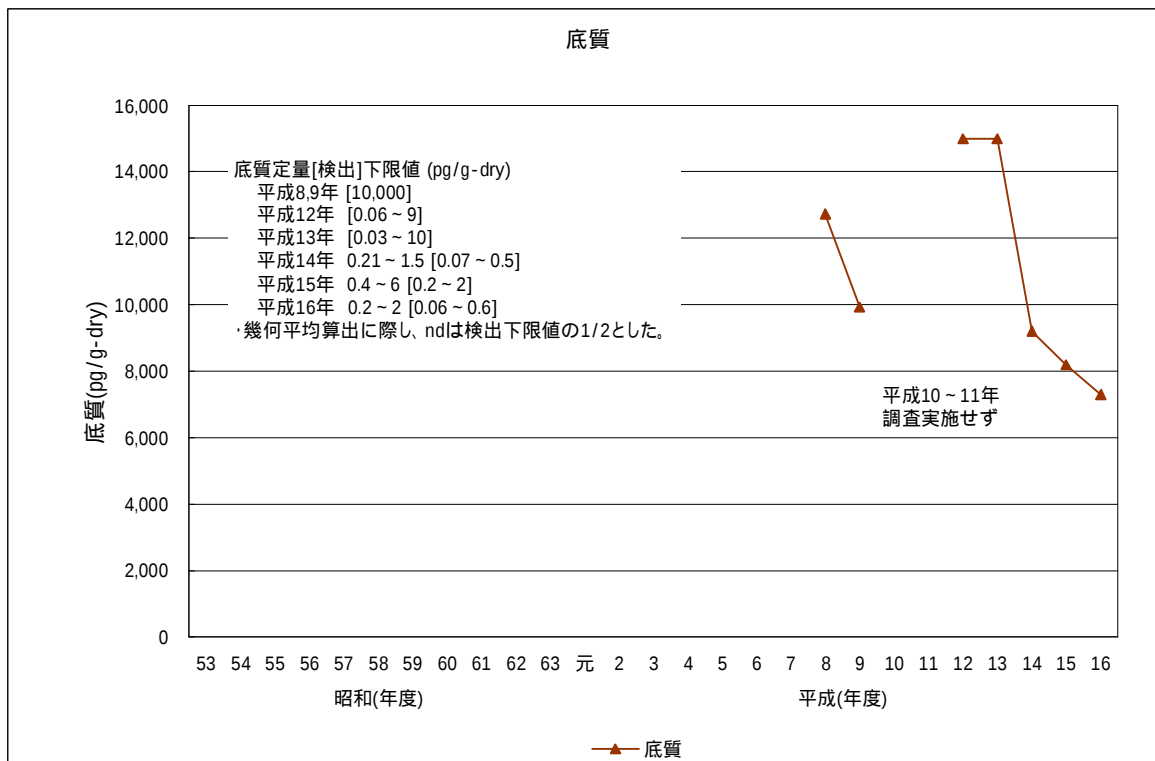
平成15年 0.3 ~ 6 [0.07 ~ 2]

平成16年 0.4 ~ 10 [0.2 ~ 4]

・幾何平均算出に際し、ndは検出下限値の1/2とした。

注) PCB水質は平成11年度以前の調査実績がない。

図3-5-A PCB類の水質の経年変化(幾何平均値)



底質定量[検出]下限値 (pg/g-dry)

平成8,9年 [10,000]

平成12年 [0.06 ~ 9]

平成13年 [0.03 ~ 10]

平成14年 0.21 ~ 1.5 [0.07 ~ 0.5]

平成15年 0.4 ~ 6 [0.2 ~ 2]

平成16年 0.2 ~ 2 [0.06 ~ 0.6]

・幾何平均算出に際し、ndは検出下限値の1/2とした。

平成10～11年
調査実施せず

注) PCB底質は平成7年度以前の調査実績がない。

図3-5-B PCB類の底質の経年変化(幾何平均値)

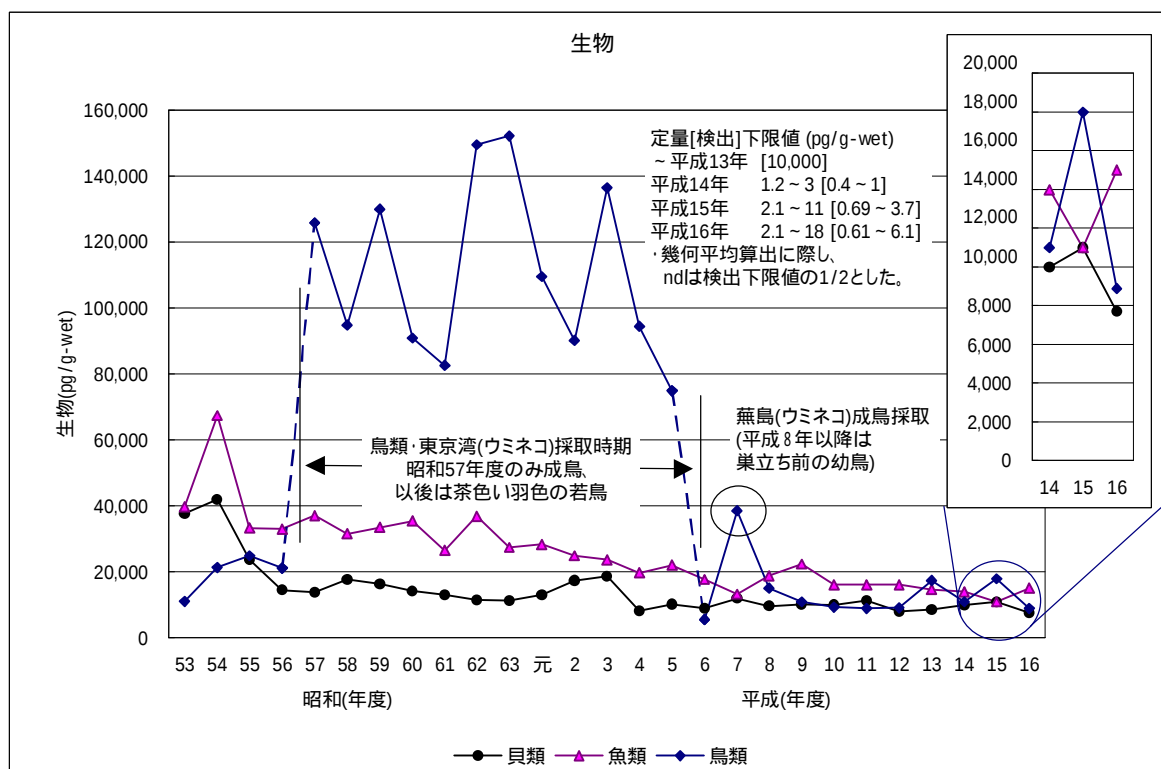
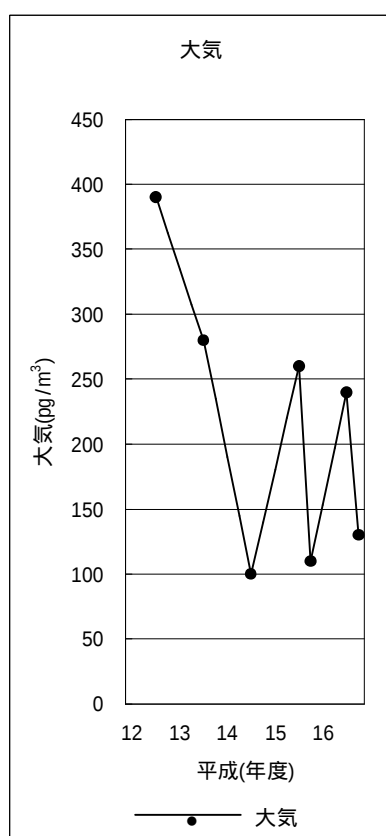


図3-5-C PCB類の生物の経年変化(幾何平均値)



大気定量[検出]下限値 (pg/m³)

年次	大気定量[検出]下限値 (pg/m ³)
平成12年	[0.0004～3]
平成13年	[0.0004～5]
平成14年	0.015～90 [0.005～30]
平成15年	0.013～3.2 [0.0043～1.1]
平成16年	0.024～0.99 [0.008～0.33]

・幾何平均算出に際し、ndは検出下限値の1/2とした。

図3-5-D PCB類の大気の経年変化(幾何平均値)